

14 簡易水道事業会計

令和3年度より地方公営企業会計基準に則った会計制度への移行を行なった。

令和3年度においては、会計制度の移行年ということもあり、減価償却費、長期前受金戻入など従前の特別会計では計上されていなかった勘定科目が計上されている為、前年対比での事業報告は行なわない。

1. 収支の状況

(1) 収益的収支の状況（3条決算）

収益的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	区分		予算額		決算額		予算額に比べ 決算額の増減	収入率
	金額	構成比	金額	構成比				
簡易水道事業収益	134,113,000	100.0	137,699,712	100.0	3,586,712	102.7		
1. 営業収益	93,108,000	69.4	96,143,572	69.8	3,035,572	103.3		
2. 営業外収益	41,005,000	30.6	41,556,140	30.2	551,140	101.3		

収益的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	区分		予算額		決算額		不用額	執行率
	金額	構成比	金額	構成比				
簡易水道事業費	150,584,000	100.0	149,365,961	100.0	1,218,039	99.2		
1. 営業費用	131,962,000	87.6	130,763,903	87.6	1,198,097	99.1		
2. 営業外費用	16,509,000	11.0	16,489,091	11.0	19,909	99.9		
3. 特別損失	2,113,000	1.4	2,112,967	1.4	33	100.0		

○収益的収支について

本年度の簡易水道事業収益は 137,699,712 円であり、内訳として水道使用料及び量水器使用料 95,684,572 円、手数料 459,000 円、一般会計繰入金 13,461,000 円、長期前受金戻入 28,046,371 円、受取利息 49 円、雑収益 48,720 円となった。簡易水道事業費用は 149,365,961 円であり、内訳として原水 3,832,875 円、浄水費 18,264,540 円、配水費 3,317,309 円、総係費 10,096,594 円、減価償却費 95,252,585 円、支払利息 11,118,891 円、消費税及び地方消費税 5,370,200 円、その他特別損失 2,112,967 円となった。

(2) 資本的収支の状況（4条決算）

資本的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	区分		予算額		決算額		予算額に比べ決 算額の増減	収入率
	金額	構成比	金額	構成比				
資本的収入	113,029,000	100.0	41,529,735	100.0	△71,499,265	36.7		
1. 企業債	10,200,000	9.0	10,200,000	24.6	0	100.0		
2. 一般会計繰入金	25,165,000	22.3	25,165,000	60.6	0	100.0		
3. 補償金	77,664,000	68.7	6,164,735	14.8	△71,499,265	7.9		

資本的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	区分	予算額		決算額		翌年度 繰越額	不用額	執行率
		金額	構成比	金額	構成比			
資本的支出		168,162,000	100.0	96,450,515	100.0	71,500,000	211,485	57.4
1. 建設改良費		83,107,000	49.4	11,407,000	11.8	71,500,000	200,000	13.7
2. 企業債償還金		73,180,000	43.5	73,179,466	75.9	0	534	100.0
3. 一般会計繰出金		10,000	0.0	0	0.0	0	10,000	0.0
4. 基金積立金		11,865,000	7.1	11,864,049	12.3	0	951	100.0

○資本的収支について

本年度の資本的収入は41,529,735円であり、内訳として企業債10,200,000円、一般会計繰入金25,165,000円、補償金6,164,735円となった。

資本的支出は96,450,515円であり、内訳として建設改良費11,407,000円、企業債償還金73,179,466円、基金積立金11,864,049円となった。建設改良費71,500,000円を次年度へ繰越した。

本年度の建設改良工事は、老朽化した施設の機器等更新を行った。(中区浄水場急速ろ過池制御弁・ろ過排水弁、大山高区減圧弁、三留野浄水場後次垂注入ユニット)

また、5月～8月の豪雨により被災した水源等の応急復旧をおこなった。

2. 事業の実績

(1) 簡易水道の状況及び実績

区分	三留野・妻籠	北部	大山・蘭	川向	田立	合計
計画給水人口(人)	1,676人	281人	735人	345人	964人	4,001人
給水区域内現在人口	1,459人	243人	674人	284人	846人	3,506人
現在給水人口(人)	1,449人	239人	674人	284人	845人	3,491人
給水戸数(戸)	667戸	90戸	304戸	127戸	356戸	1,544戸
水源の種類	表流水	1	1		2	4
	伏流水			2	1	4
	湧水	2	4			6
一日平均配水量(m ³)	654m ³	130m ³	367m ³	191m ³	288m ³	
一日最大配水量(m ³)	887m ³	187m ³	787m ³	256m ³	407m ³	
年間配水量(m ³)	238,582m ³	47,300m ³	133,941m ³	69,681m ³	105,237m ³	594,741m ³
有収水量(m ³)	154,981m ³	25,771m ³	85,378m ³	37,097m ³	85,396m ³	388,623m ³
有収率 令和2年度	91.0%	57.6%	57.5%	47.5%	71.3%	69.2%
有収率 令和3年度	65.0%	54.5%	63.7%	53.2%	81.1%	65.3%

・給水原価(水道水1m³当たりの製造単価)

= (R2まで) (益的収支総費用+資本的収支地方債償還金) ÷ 有収水量 (前年 305.1円)

(R3から) 経常費用(営業費用+営業外費用) - 長期前受金戻入 ÷ 有収水量 = 287.0円

・供給単価(水道水1m³当たりの販売単価)

= 料金収入 ÷ 有収水量 = 245.7円 (前年度 246.8円)

・資本費

= (地方債償還金+支払利息) ÷ 有収水量 = 216.9 円 (前年度 211.6 円)

(2) 使用料関係

①料金

下記の使用料は平成 30 年度に改定されたものである。人口減に伴う料金収入の減少と施設の老朽化が今後顕著になることが見込まれる中、持続可能な水道事業の経営をしていくため、定期的に料金設定の見直しについて検討していく。

②メーター検針業務の外部委託

平成 18 年 4 月からメーター検針業務を町内民間の方 4 名に委託している (検針は 2 ヶ月に 1 回実施)。平成 30 年度からは検針員の業務中の事故について保険対応ができるよう個人委託員傷害保険に加入している。

③料金システム

(株)電算の水道料金システムを利用し、料金徴収事務を実施した (平成 18 年 4 月から)。

④水道使用料 (消費税抜き)

(単位: 円)

基本料金			超過料金	
口径別	1 ヶ月当たり	円	(1 m ³ 当たり)	
φ 13mm	10 m ³ まで	1,638	11 ~ 20 m ³	163
φ 20mm		1,844	21 ~ 40 m ³	183
φ 25mm		2,152	41 ~ 60 m ³	224
φ 30mm		2,766	61 m ³ ~	245
φ 40mm		3,380	プール	71
φ 50mm		3,894		
φ 75mm		4,610		

⑤量水器使用料 (消費税抜き)

(単位: 円)

口径別	φ 13mm	φ 20mm	φ 25mm	φ 30mm	φ 40mm	φ 50mm	φ 75mm
1 ヶ月	152	286	306	512	603	2,213	3,565

⑥新設改造審査及び検査手数料

(単位: 円)

口径別	料金	口径別	料金
φ 13mm	25,000	φ 40mm	38,000
φ 20mm	28,000	φ 50mm	40,000
φ 25mm	34,000	φ 75mm	78,000
φ 30mm	36,000		

⑦給水再開手数料

1 件 5,000 円

⑧納付方法 使用料の徴収は、現金納付と口座振替納付の2種類で対応している。

⑨徴収状況 (単位：円)

使用料区分			調定額	収納額	未収額	収納率	不納欠損
水道 使用料	現年度分	3年度	90,397,457	89,455,930	941,527	98.9%	0
		2年度	91,096,647	90,189,849	906,798	99.0%	0
	過年度分	3年度	3,287,585	769,156	2,518,429	23.4%	0
		2年度	3,766,855	671,938	2,380,787	22.0%	0
	3年度計		93,685,042	90,225,086	3,459,956	96.3%	0
量水器 使用料	現年度分	3年度	5,287,115	5,234,129	52,986	99.0%	0
		2年度	5,303,204	5,257,016	46,188	99.1%	0
	過年度分	3年度	139,993	34,400	105,593	24.6%	0
		2年度	135,582	37,443	93,805	28.5%	0
	3年度計		5,427,108	5,268,529	158,579	97.1%	0
3年度 合計			99,112,150	95,493,615	3,618,535	96.3%	0

⑩滞 納

以下のとおり滞納整理を実施し、過年度分の収納率向上に繋げた。

○現年度のみ滞納がある滞納者へは電話と文書による催促を実施した。

○現年度と過年度に滞納がある滞納者へは、電話と文書による催促に加え臨戸徴収を実施し、状況に応じて給水停止や取立訴訟を行う可能性がある旨の説明を行った。

(3) 施設維持管理 (税込)

①主な原水修繕工事

本谷水源災害復旧修繕	550,000 円
三留野浄水場水源緊急災害復旧	520,300 円
大山高区・向ヶ原水源災害復旧緊急修繕	729,273 円
大山高区水源仮設導水管保温修繕	493,900 円

②主な浄水場修繕工事 (税込)

町内各浄水場水実計器修繕	1,086,800 円
妻籠配水池内防草マット敷設修繕	498,823 円

③主な配水管修繕工事 (税込)

岩倉地区給水管漏水修繕	132,000 円
岩倉地区給水管漏水修繕	440,000 円
棚橋付近本管修繕	202,070 円
五宮神社付近本管修繕	125,400 円

④水質管理

給水については毎月の定期項目検査、年1回の全項目検査、年1回の原水全項目検査、クリプト検査のほかに、消毒副生成物検査、臭気物質検査等を実施した。

施設管理については、遠隔監視装置による毎日の監視のほか、週2回各施設の巡回点検を実施

した。

⑤汚泥搬出業務

三留野浄水場の汚泥搬出について業務委託により2回実施した。(11月)
合計処理量…3.6t 委託先：(有)田切クリーンセンター 上伊那郡飯島町
※処分汚泥に係る放射性物質測定を実施…各種放射性元素は検出されなかった。

(4) 上下水道審議会

1回の審議会を開催した。

◎第1回 … 3月2日(上下水道事業の現況について・小規模水道の現状について・公営企業会計の経理の方法について・リニア中央新幹線計画への対応について)

(5) 建設改良事業

- ・令和3年度 中区浄水場急速濾ろ過池制御弁更新工事
工事費 3,685千円(請負者：日本エンヂニヤ(株))
- ・令和3年度 中区浄水場N o 2 ろ過排水弁更新工事
工事費 1,870千円(請負者：日本エンヂニヤ(株))
- ・令和3年度 三留野浄水場後次亜注入ユニット更新工事
工事費 2,475千円(請負者：日本エンヂニヤ(株))
- ・令和3年度 大山高区棚橋減圧弁更新工事
工事費 2,497千円(請負者：日本エンヂニヤ(株))
- ・令和3年度 大山高区水源応急仮工事
工事費 880千円(請負者：(有)蘭工業)

(6) リニア中央新幹線工事にかかる水道水源対策

リニア中央新幹線工事計画に伴う水道水源の減濁水対策について、水道水源予備的措置に係る設計業務を委託し、詳細な設計に入った。

- ・令和3年度 リニア関連 水道水源予備的措置に係る設計業務 (令和4年度へ繰越)
委託先：共和設計株式会社 長野市
委託費：71,357,000円

(7) 地方公営企業法適用推進

令和3年度に特別会計から公営企業会計へ移行した。

(8) 今後の問題点・課題等

人口減少が進み料金収入の大幅な増加が見込めない中で、水道施設の修繕などのランニングコストの増加が予想されるため、最適整備構想(長寿命化計画)に基づいた中・長期的な維持管理を進めていく。また令和3年度に公営企業会計へ移行したことで、より緻密な経営分析が可能となり、これに基づき経営戦略を見直し、より一層の事業経営の合理化、効率化を進めていく必要がある。

3. 地方債の状況

地方債の償還額及び未償還金元金残高

(単位：円)

起債名	2年度末	3年度中増減		3年度末
	未償還元金	借入金	償還元金	未償還元金
辺地対策事業債	2,100,106		299,924	1,800,182
過疎対策事業債	11,000,000			11,000,000
川向簡易水道事業債	11,174,003		929,446	10,244,557
妻籠簡易水道事業債	0			0
田立簡易水道事業債	287,100,632	5,400,000	23,319,124	269,181,508
北部簡易水道事業債	5,124,354		446,540	4,677,814
大山・蘭簡易水道事業債	80,642,176	2,400,000	18,132,505	64,909,671
三留野・妻籠簡易水道事業債	232,477,119	2,400,000	24,278,968	210,598,151
災害復旧債	31,338,979		5,772,959	25,566,020
合 計	660,957,369	10,200,000	73,179,466	597,977,903

(別表1)

令和3年度簡易水道関係主要事業

(単位：千円)

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考		
				国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	繰越金		一般財源	その他
○災害復旧関係(工事関係)											
大山高区水源応急対応	町	工事 一式	880						880		
災害復旧事業 計											
○施設更新改良事業											
中区浄水場急速ろ過池制御弁更新工事	町	工事 一式	3,685		3,600				85		
三留野浄水場後次亜注入ユニット更新工事	町	工事 一式	2,475		2,400				75		
大山高区柵橋減圧弁更新工事	町	工事 一式	2,497		2,400				97		
中区浄水場No.2ろ過排水弁更新工事	町	工事 一式	1,870		1,800				70		
施設更新改良事業合計											
			10,527	0	10,200	0	0	0	327	0	
○リニア建設関連水道水源対策事業											
令和3年度リニア関連水道水源予備的措置に係る設計業務	町	設計業務 一式	71,357							71,357	令和4年度へ繰越
リニア建設関連水道水源対策事業合計											
			71,357	0	0	0	0	0	0	71,357	
合計											
			82,764	0	10,200	0	0	0	327	71,357	

